

3月28日(月)

## 神を信じる

聖書朗読 イザヤ48：17-22

ある者はいくさ車を誇り、ある者は馬を誇る。しかし、私たちは私たちの神、主の御名を誇ろう。詩篇 20：7

病気になると、よく神様を信じていますと言いますが、それは神様が癒してくださるに違いないと思う事ではないでしょうか。

神様を信じる上で、本当に必要なことは、神様は正しいことをなさると信じることです。神様にとって正しい事とは、私たちの願っているものとは限りません。私たちの神様が、正しく全知全能のお方であると信じているなら、神様のなさることは、私たちすべてにとって最良であるという事を信じる事です。

私たちは、神様の眼力や知力には及びません。私たちの望みは、現在から見て何がベストであるかに基づいています。しかし、神様を真に信じるという事は、現在ではなくそれを越えたもの、すなわち天国でベストと思う事をされるという確信です。

馬や馬車に頼ることは、人間の知力、工夫、力に頼ることです。しかし神様に頼ることにより、私たちの心やこの世界に、真の平安が得られます。

聖歌 476

祈り 御在天の父なる神様。どんな問題でも、どんな急ぎの願いでも、私にとって最良に見えるすべての事にあなたに信頼を置けるよう導いて下さい。あなたの道が最良であるという安らぎを与えてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ビリー・W・シルベイ

カルフォルニア州 ロサンジェルス

## 今日の力

2016年3月28日～4月3日

翻訳 井上輝彦

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

3月29日(火)

## 満月の様に輝く

聖書朗読 イザヤ 60:1~7

あなたがたは、世界の光です。

マタイ 5:14

アドリア海でアルバニア人夫婦にバプテスマを授けた時に、彼らが「私たちにとってあなたは神様です」と言った事にはショックを受けました。私は直ちに「とんでもない。私はただ神様の僕です」と言いました。しかし後になって振り返ってみると、その夫婦が言った事がわかり始めました。彼らは共産独裁者の下で霊的な闇の中で暮らし続けていて、やっとその中で光を見つけ彼らの先生に謝意を表す気持ちだったです。

イザヤは、『起きよ。光を放て。あなたの光が来て、主の栄光があなたの上に輝いているからだ。見よ。やみが地をおおい、暗やみが諸国の民をおおっている。』(60:2)と書いています。私たちが輝くのは光が私たちのものではなく、主の栄光が私たちの上にあるからです。

パウロは、私たちは主の栄光を反映させていると言いました。『私たちはみな、・・・栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。』(IIコリント3:18)。霊的な探求の発端は、新月の銀色の光を反映していますが、神様の御霊によって造り変えられると、私たちはもっと主の栄光を反映していきます。そしてついに円熟時には満月の栄光を現すように輝きます。

讚美歌 326

祈り 天のお父様。あなたの栄光を現すためにイエスをこの世に送られたことを感謝します。私たちを用いて、あなたのかたちに造り変えて、あなたの光を反射させて暗い世に光を当ててください。

イエス様の御名前により祈ります。アーメン。

リチャード・N・アディー  
オレゴン州 グレッシュャム

3月30日(水)

## そこへ行くな

聖書朗読 アモス 5:1~8

ベテルを求めな。ギルガルに行くな。ベエル・シェバにおもむくな。ギルガルは必ず捕え移され、ベテルは無に帰するからだ。 アモス 5:5

あなたは、ベテルのどこが悪いのかと言うかもしれませんが。そこには偉大な霊的な歴史があります。ギルガルはイスラエルの信仰の歴史上重要な意味を持っています。しかしアモスは次のように答えを出しています。これらは一時的で、いずれは忘れられる運命にある。そこで私たちはどこへ向けばいいのか。アモスは、『主を求めて生きよ。』(5:6)と言いました。イザヤは、『あなたの切り出された岩を見よ』(イザヤ51:1)と書いています。神様はどこにも行きません。神様は永遠です。神様を求めなさい。

明らかにイザヤやアモスがいた時代も私たちと同じです。生命が終息しそうで無力になった時、神様の祝福を受けるにはふさわしくない所にいると考えるでしょう。そして場所を変えるために、新しい教会や説教者を探します。

アモスとイザヤはこの答えを教えています。それはあちらではなくここにあるのです。岩を見なさい。もし私たちがイエスをよく知らないなら、どんな新しい変化の試みも長く続かないでしょう。キリストにあって私たちはそれが何であっても御霊によって生きる事ができるのです。

讚美歌 267

祈り 主よ。あなただけに目を向けるよう導いて下さい。  
イエス様の御名を通して。アーメン。

パット・アンドリュー  
テキサス州 アビリン

3月31日(木)

### 3日間の闇

聖書朗読 ヨナ 1:1~17

私はあなたの恵みに拠り頼みました。私の心はあなたの救いを喜びます。

詩篇 13:5

ヨナにとって、あの大きな魚のお腹の中はどんなものだったのだろうかと思わず立ち止まって考えてみましょう。暗く、ぬるぬるし、嫌な臭いがしたと察せられます。聖書によると彼は3日間そこにいました。ヨナにとってこの3日間は神様が何をされるのかをじっくり考える機会であり、いかに神様から逃げずに従う事が必要かを、理解したのでした。

パウロ、当時のサウロも同様の経験をしました。キリスト信者を迫害するためにダマスコへ向かう途中、主が彼の前に現れた後、3日間は目が見えませんでした。暗やみでの3日間で彼は自分の運命についてじっくり考え、彼について予期せぬ何かが起ころうとしていて、そして彼自身が神様に従う事より、神様の意思に逆らって来たという事を悟るのです。

私たちは神様の望んでおられる道を歩んでいるだろうかと思わず立ち止まって考えましょう。たぶん御旨に沿っているとか、あるいは優先順位を再点検し方向転換をしてみるとか考えましょう。人生に流されないようにしましょう。私たちの生活のなかで神様の御旨についての祈りと瞑想の時間を取りましょう。

讃美歌 298

祈り 天のお父様。あなたが私たちの内にあり、守って下さっていることに感謝します。順調な時も逆境の時もあなたを求めることが出来ますように助けて下さい。そして信仰を深め導いて下さい。

イエス様の御名により。アーメン。

ケビン・B・レイケル

テネシー州 ナッシュビル

4月1日(金)

### 完璧な言葉

聖書朗読 ヨナ 4:4~11

ニネベの人々が、さばきのときに、今の時代の人々とともに立って、この人々を罪に定めます。なぜなら、ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし見なさい。ここにヨナよりまさった者がいるのです。 マタイ 12:41

議論と言うものは時には終わりがありません。それは両者とも相手側が決定的で完璧な言葉を語るのを望まないからです。そうだ。そうでない。そうだ。そうでない。等々。神様に対してこの様に挑んでみても、神様はいつも決定的で完璧な言葉を持っています。神様の言葉はNOかもしれないが、私たちはYESを望んでいる。神様は十分と言うが、私たちは足りないと思う。神様のお言葉は恵み、でも私たちは仕返しを望む。これがヨナの問題でした。

私たちは何かが起こったことに対して怒る時は、ただ神様に対して議論をしたいと言います。私たちに特権が与えられていて、自分たちの計画、慣習、解釈が正しいと思っただけなのでしょう。しかし神様はすべての民を愛され、彼らはかけがえのない人たちです。神様が私たちに従うのでは無く、私たちが神様に従うのです。

ヨナ書では、突然幕が降ろされ、記述が最後まで終わっていません。ヨナは自分の頑固な偏狭さを悔い改めたのでしょうか。おそらく聖書の後の方で答えは見つかるでしょう。ヨナよりまさった者が来ます。これが神様の決定的で完璧な言葉です。

神様はモーセ、ヨブ、アナニア、サツピラ、使徒たちやヨナに対して言葉を与えられた。そしてそれらの言葉は私たちが神様と分かち合っています。

讃美歌 第二編 167

祈り 私たちの神様。あなたは私たちにとって申し分のない存在です。私たちがいつも神様に話しかけているという事を思い起こさせてください。そしていつもあなたがこの世に発せられた御言葉を受け入れることが出来ますように。

イエス様の御名により。アーメン。

ポール・トーマス

カルフォルニア州 ユーカイパ

4月2日(土)

## 言 い 表 せ ない 平 安

聖書朗読 ハバクク 3:1~2, 16~19

そうすれば、人のすべての考えにまさる平安が、・・

ピリピ 4:7

あなたの生活が突然崩れてくる事はあり得る事です。しばらくして、悲劇が自分のところに飛んできて、足元が重く、胸元に重いおもりをつけているかの如く感じます。予期しないひどいことが起きれば、人はどのようにして信仰心を正常に保つことができるのでしょうか。

ハバククを参考に考えてみましょう。彼がハバクク書の最後に述べていることはまさに滅びゆく民の事です。戦に敗れた後の荒廃のすさまじさは彼が述べている通りです。イチジクの木は花を咲かせず、ブドウの木は実を実らせず、畑は食物を出さない。羊は囲いから絶え、牛は牛舎にいなくなる。実際最悪の状態です。まるですべてを彼から奪い去ったようです。

しかしハバククは次の真実を知っていました。誰も、何であろうと神様を奪い去ることはできない。神様は嵐の中でも私たちをしっかりと支え、慰めが見つからない時でも慰めて下さるお方である。この世には問題があります。しかし、神様の御前では平安があります。神様が私たちに与えて下さる平安は私たちの状況に応じてくるのではなく、それは神様の贈り物として来るのです。

生活が突然崩れた時、神様に向きましよう。すべてがバラバラになったとしても、神様は決してバラバラにはしないでしょう。混乱や困難な中でも神様を信頼しましょう。そうすれば平安が与えられます。

讚美歌 第二編 238

祈り 神様。あなたは私たちの平安です。どんな状況でも立ち向かえる恵みをいただいています。あなたをいつも信頼する信仰を与えてください。

イエス様の御名により。アーメン。

イーサン・E・ブラウン

ノースカロライナ州 ヘンダーソンビル

4月3日(日)

## 他人がしない事をしなさい

聖書朗読 マタイ 5:43~48

私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は神からでているのです。

Iヨハネ 4:7

「とんでもない。そんなこと出来る筈がない」。これは、マタイ5章43節から48節でのイエスの言葉に接するとき、私たちが通常発する言葉ではないでしょうか。ここでのイエスの教えは、私たちの日常の感情とかけ離れているからです。

確かにある人々が行った事や、言ったりした事が私たちに敵にまわす事はあるでしょう。事によるとあなた自身に関しての言葉だったり、もっと悪い場合には家族に関することだったりします。あるいはあなたに関する間違った事を誰かに言って、その人が信じたりすることもあるでしょう。いずれの場合でもこれらの状況になった時にどんな感情が生ずるかは、わかっているでしょう。

イエスはこのような人々も愛すべき対象であると言っておられます。簡単なことだとは言っていません。あなたに愛を抱いている人を愛するのはやさしいことです。他人に対して良いことをして、それがあなたに帰ってくる時、愛することはやさしいことです。でも、あなたに援助の手を差し伸べなかった人を援助することは、やさしいことではありません。

しかしそれがイエスの求めていることです。あなたを憎んでいる人を？ 愛しなさい。あなたの噂をしている人には？ 彼らに恵みや親切な言葉を語りかけなさい。あなたを敵だと思っている人には？ 何か良いことをしてあげなさい。それがイエスの望んでおられることです。

讚美歌 389

祈り 神様。私たちが愛されるに値しない時でも愛して下さっています。そして私たちが憎んでいる人たちや利用する人たち、私たちに決して愛を示さない人に対してあなたの愛を広める事が出来るように祈ります。

イエス様の御名前により。アーメン。

チャド・エゼル

テネシー州 ミラン